

2016年6月号

6月15日(水)発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

# 月刊 温根内通信 No. 237



## 花の湿原…

釧路湿原にもようやく花の季節が訪れました。  
背の高い植物が少ないこの時期は、可憐な花々が競うように咲き始め、  
萌黄色の湿原を華やかに彩ります。植物たちは美しい姿で私たちを癒し  
てくれる一方、様々な方法で子孫を遺すための工夫を凝らしています。  
そんな植物の知恵を探ると、いきものたちのつながりが見えてきます。

☆☆☆温根内ビジターセンター 探勝木道周辺の自然情報☆☆☆



～温根内探勝木道周辺の自然～



【ミツガシワ】  
 ミツガシワ科 三柏  
 この花を見るために湿原を訪れる人も多い、人気の高い花です。淡いピンク色をした花弁のものもありますので探してみてください。



【ハナタネツケバナ】  
 アブラナ科 花種漬花  
 ヨシ・スゲ湿原で普通に見られます。絶滅危惧種に指定されており、温根内は間近で観察できる貴重な場所の一つです。



【ヒメカイウ】  
 サトイモ科 姫海芋  
 白い仏炎苞が特徴的で、同じサトイモ科のミスバショウに似ていますが、それよりも小さく、秋には赤い実をつけます。



【シコタンキンポウゲ】  
 キンポウゲ科 色丹金鳳花  
 黄色い花の表面に光沢があるのが特徴です。色丹島で見られるキンポウゲという意味でこの名前がつけました。



【カラフトイソツツジ】  
 ツツジ科 樺太磯躑躅  
 この季節の高層湿原に咲く代表的な花の一つです。「イソ」という名前が付いていますが、高山地帯などでもよく見られる花です。



【ヨツボシトンボ】  
 トンボ科 四星蜻蛉  
 この時期から湿原内を多く飛び交っています。成熟したオスは巡回しながら縄張りを主張し、他のオスを追い払います。

○表紙の写真 上：ヨシ・スゲ湿原 中右：ハナタネツケバナ 中左：ミツガシワ 下：ヒメカイウ

## ～温根内探勝木道周辺の野鳥～

木々の葉が茂り、鳥を見つけることが難しくなってきましたが、湿原内では枯れヨシやハンノキの枝先で元気にさえずるノビタキやオオジュリンなどの姿を簡単に見つけることができます。活動が活発な朝早い時間帯がおすすめです。ビジターセンターでは双眼鏡を無料で貸し出しています。お気軽にご利用ください。



【アオジ（オス）】  
ホオジロ科 青鷗 夏鳥  
温根内周辺に普通に見られる夏鳥です。オスは目の周りが黒いのが特徴で、綺麗な声でさえずり、縄張りを主張します。



【アオジ（メス）】  
ホオジロ科 青鷗 夏鳥  
メスは目の周りは黒くありません。この時期はオスと一緒に子育ての真っ最中で、雛は巣立ちの時期を迎えようとしています。



【ノゴマ】  
ヒタキ科 野駒 夏鳥  
オスは赤い喉元が際立っています。凛々しく尾羽をピンと立てて、ヒーチョリチリー、など複雑に鳴きます。



【ウグイス】 夏鳥  
ウグイス科 鶯  
ホーホケキョの鳴き声は有名ですが、その姿は地味でありあまり知られていません。ビジターセンター周辺でもよく鳴いています。

○温根内探勝木道周辺で観察された花（5月15日～6月14日）※和名は五十音順

■アカンカサスゲ■イタヤカエデ（木本）■イヌコリヤナギ（木本）■ウスイロスゲ■エソエンゴサク■エソオオサクラソウ■エソカラマツ■エソニワトコ（木本）■エソネコノメソウ■エソノクサイチゴ■エソノタチツボスミレ■エソハリスゲ■エソヤマザクラ（木本）■エナシヒゴクサ■エンコウソウ■オオアマドコロ■オオイヌノフグリ■オオカサスゲ■オオカサモチ■オオツリバナ（木本）■オオバタネツケバナ■オオバナノエンレイソウ■オオヤマフスマ■カキツバタ■カサスゲ■カブスゲ■カラフトイソツツジ（木本）■カラコギカエデ（木本）■カラフトホソバハコベ■キジムシロ■ギョウジャニンニク■クリイロスゲ■クロミノウグイスカグラ（木本）■コウボウ■コケイラン■コツマトリソウ■コハリスゲ■コンロンソウ■サギスゲ■サワシバ■シコタンキンボウゲ■シロツメクサ■スズメノヤリ■セイヨウタンポポ■チシマネコノメソウ■ツボスミレ■ツマトリソウ■ツリバナ（木本）■ツルコケモモ（木本）■ツルスゲ■ナガバツメクサ■ナズナ■ナナカマド（木本）■ノハラムラサキ■バイケイソウ■ハクサンスゲ■ハナタネツケバナ■ヒゴクサ■ヒメシャクナゲ（木本）■ヒメタガラシ■ホロムイソグ■ホロムイツツジ■マイヅルソウ■マムシグサ■ミズナラ（木本）■ミツガシワ■ミツバウツギ（木本）■ミツバツチグリ■ミミナグサ■ミヤマザクラ（木本）■ムジナスゲ■ヤチスゲ■ヤチャヤナギ（木本）■ヤナギトラノオ■ヤマグワ（木本）■ヤラメスゲ■ユキザサ■レンブクソウ

○温根内探勝木道周辺で観察された鳥（5月15日～6月14日）※和名は日本鳥類目録第7版の順

■キジバト■アオバト（5/26 初認）■タンチョウ■クイナ■アオサギ■ツツドリ■カッコウ（5/26 初認）■ハリオアマツバメ■オオジシギ■トビ■オジロワシ■チュウヒ■ノスリ■アリスイ■コゲラ■アカゲラ■ハシボソガラス■ハシブトガラス■ハシブトガラ■ヒガラ■シジュウカラ■ショウドウツバメ（5/22 初認）■ヒヨドリ■ウグイス■エナガ■エゾムシクイ■センダイムシクイ■マキノセンニュウ（6/9 初認）■シマセンニュウ（6/4 初認）■コヨシキリ（5/28 初認）■ゴジュウカラ■キバシリ■コムクドリ■アカハラ■ノゴマ（5/18 初認）■コルリ■ノビタキ■コサメビタキ（5/18 初認）■キビタキ■オオルリ■ニューナイスズメ■ハクセキレイ■ピンズイ■カワラヒワ■ベニマシコ■アオジ■クロジ（5/21 初認）■オオジュリン

※温根内木道周辺に咲いている花を折ったり持ち帰ったりしないようお願いします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いします。

☆☆☆☆☆自然ふれあい行事が開催されました☆☆☆☆☆



○早朝バードウォッチング 5月22日(日)開催 参加者: 20名

タンチョウコミュニティ代表の音成氏を講師に、野鳥の観察会を行いました。集合場所の駐車場にさっそく現れたアオジの観察から始まり、木道探勝路ではヒガラ、ノビタキ、アカゲラなどの姿を確認し、今回は合計18種の野鳥を確認することができました。講師の音成氏からは、野鳥の見つけ方や雄雌の見分け方などについて教えていただきました。



○春の湿原花ハイク 6月5日(日)開催 参加者: 15名

植物の専門家である高嶋氏を講師に、暖かな陽気の中、植物観察会を行いました。同じトクサ科のミスドクサとイヌスギナの違いや、見頃を迎えているミツガシワの受粉の仕組みなど、湿原を長年研究している高嶋氏ならではの視点から、温根内周辺の自然の魅力や逞しさを教えていただきました。

☆☆☆☆☆イベントのご案内(7月)事前の申し込みが必要です☆☆☆☆☆

○温根内ビジターセンター ⇒お申込み☎0154-65-2323

※無料ガイドウォーク(無料GW)はお申し込み不要です。開始時間に直接ビジターセンターへお越しください。

日	月	火	水	木	金	土
					1	2 無料GW
3 初夏の湿原花ハイク	4	5 休館日	6	7	8	9 無料GW
10 無料GW	11	12 休館日	13	14	15	16 無料GW
17 無料GW	18 海の日 無料GW	19 臨時開館	20	21	22	23 無料GW
24 無料GW	25	26 臨時開館	27	28	29 ホテルウィーク	30 ホテルウィーク 無料GW
31 ホテルウィーク 無料GW						

♪初夏の湿原花ハイク: 10:00~12:00(定員15名) ♪ホテルウィーク: 19:30~21:00(定員:20名)

♪無料GW: 10時~、14時~(1日2回開催、定員10名、申込不要、定員になり次第締め切り)

○塘路湖エコミュージアムセンター(あるこっと) ⇒お申し込み☎015-487-3003

♪土器づくり講座 [場所] 塘路湖エコミュージアムセンター

[日時] 7月9日(土) 10:00~14:00 [定員] 15名(小学生は保護者同伴) [参加費] 300円(材料費)

新しい指導員がやってきました!

5月から新しく当ビジターセンター指導員として配属されました、藤原伸也です。まだまだ指導員としては素人ですが、これから勉強しながら温根内周辺の自然情報やイベント情報をわかりやすく、そして面白く伝えていきたいと思っております。どうぞ長い目で見守ってください。よろしくお願いたします。

月刊 温根内通信 No.237

発行: 釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-0036 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel: 0154-65-2323 Fax: 0154-65-2185

E-mail: ovc@hokkai.or.jp

ホームページ: <http://city.hokkai.or.jp/~kkr946/>

Facebook: [温根内ビジターセンター フェイスブック](#)

開館時間: 10:00~17:00(11月~3月は16:00まで)

休館日: 毎週火曜日(12/29~1/3は休館) 入館無料